

平成23年度一般会計・特別会計 予算特別委員会報告

予算特別委員会
副委員長 松崎正芳

平成23年度一般会計予算
13事業特別会計予算

賛成多数原案可決
全会一致原案可決

平成23年度一般会計収支予算額は146億9千万円であり、前年度対比で2.8%、4億円の増額となっております。

予算全体では、生活基盤の整備、定住対策、子育て支援策、また産業振興、観光振興、さらには、教育施設整備等、住民生活全般にわたって配慮されております。先の臨時議会で議決した経済対策「きめ細かな臨時交付金事業」や小、中学校改修改築事業などの繰越額をあわせますと総額157億円規模の大型予算となっております。

小委員会の分割審査結果報告において、次のような審査報告がありました。

総務文教小委員会

- ・住民基本台帳法改正に伴う基幹系システムの更新費用 3千700万円

- ・樋の谷地区の移動通信鉄塔整備費 4千500万円

- ・各地区20万円増額となったふるさとづくり交付金 1千700万円

- ・子育て支援と地元消費拡大策を兼ねた出産祝い金 800万円

福祉厚生小委員会

- ・障害者福祉費 3億4千900万円
- ・母子父子福祉費 3千500万円
- ・保護衛生総務費 9億4千700万円

- ・馬木診療所整備費 4千万円

このほか診療所整備後における地域住民の有効的な利用課題などが指摘されました。

- ・塵芥処理費 1億8千300万円
- ・工事請負費の可燃物処理場、仁多クリーンセンター機

- ・器の取替と大型粉砕機の設置。
- ・新エネルギー関連事業費の環境政策費。 2千200万円

産業建設小委員会

- ・サイン整備事業看板設置整備費 6千万円

- ・奥出雲交通バス更新費 6千400万円

- ・佐白交流拠点施設整備事業の建築工事費 3億6千万円

- ・中山間地域直接支払い事業交付金 3億1千万円

- ・船通山山頂休憩所と三沢要害山麓休憩所の整備費 1億円

- ・鬼の舌震吊り橋整備費 3億300万円

平成23年度当初予算146億円の歳入構成は、税収等の自主財源が32億円の21・8%。依存財源は78・2%。地方交付税と国県支出金等が90億円、町債が24億円です。歳出面では、投資的経費が27億円であり、投資予算は前年度対比で2億6千万円の増額となっております。町債残高は233億円で前年とほぼ同額。財政調整基金、減債基金の合計額は10億円以上であり、実質公債比率も改善する傾向であり、総じて財政指標の健全化は担保されております。

尾原ダム建設事業が終了し、町内投資事業額の先細りが懸念されるなか、国内経済は依然低迷を続けており、さらには、この度の未曾有の大惨事である東日本大震災により日本経済、地方経済の先行きは全く暗澹としております。

予算の修正動議

発議者 大垣照子議員、塔村俊介議員
修正案 平成23年度奥出雲町一般会計予算146億9,000万円を143億3,819万円に減額修正（佐白地区交流拠点施設整備事業費3億6,228万円を減額修正）
討 論 原案賛成者：景山孝志議員、若月忠男議員、村尾明利議員
修正案賛成者：塔村俊介議員、内田精彦議員
採 決 賛成多数で原案可決